



日時：2008年11月21日（金）13：30～ 22日（土）17：00

場所：和歌山大学サテライト（和歌山市本町2-1 フォルテワジマ6F）

主催：応用物理学会励起ナノプロセス研究会

共催、協賛：和歌山大学オンリー・ワン創成プロジェクト、日本物理学会大阪支部

参加費：無料（事前に参加登録必要）

定員：約50名

内容：レーザー光や電子線などの量子ビームを時空間で制御しながら照射することによって、熱的機構では起こらない固体反応を局所的に誘起し、非平衡状態ならではの構造変化、自己組織化、原子脱離・移動を高い効率で、且つ制御性よく実現する手法を開発し、その構造変化の機構と制御を支配する要因を明らかにする。

***** プログラム *****

11月21日（金） 13:30～18:20

①A 緩和ダイナミクスの時空間計測と制御の最前線 司会：伊東千尋（和歌山大）、押山 淳（東大）

13:30～13:40 はじめに 篠塚雄三（和歌山大）

13:40～14:30 量子ビームが作り出す非平衡現象の探索とその応用 松尾二郎（京大）

14:30～15:20 金属表面吸着種の光誘起コヒーレント振動の核波束ダイナミクス 信定克幸（分子研）

休憩

15:40～18:20 励起ナノプロセスに関する最新成果報告 口頭付ポスター発表

11月22日（土）9:00～17:00

①B 緩和ダイナミクスの時空間計測と制御の最前線 司会：小森文夫（物性研）、村上浩一（筑波大）

9:00～ 9:50 超短パルスレーザー照射後の電子・格子緩和ダイナミクス 長谷宗明（筑波大）

休憩

10:10～11:00 時間分解STMによる局所励起構造の計測 武内 修（筑波大）

11:00～11:50 低速電子線照射によるSi(001)表面構造変換 河合 伸（九大）

昼食

② カーボン系構造改変の最前線 司会：前田康二（東大）、篠塚雄三（和歌山大）

13:10～14:00 パルスレーザー照射によるグラファイトの構造改変 金崎順一（阪大）

14:00～14:50 グラファイトの光誘起相転移の理論 那須奎一郎（物構研）

休憩

15:10～16:00 放射光、電子線照射によるCNTの構造改変 鈴木 哲、小林慶裕（NTT）

16:00～16:50 カーボン系構造変化の第一原理シミュレーション 岡田 晋（筑波大）

16:50～17:00 おわりに 篠塚雄三（和歌山大）

申込先・問合せ先：和歌山大学システム工学部精密物質学科 篠塚雄三、小林万紀子

TEL 073-457-8236, -8302, FAX 073-457-8237 yuzo@sys.wakayama-u.ac.jp,

mkoba@sys.wakayama-u.ac.jp, 詳細は <http://annex.jsap.or.jp/excite/meet-4.html>